

碧南市地域農業再生協議会 議事録

1 開催日時

令和8年4月27日（月）午後2時15分から午後3時まで

2 場所

碧南市役所7階 議員大会議室

3 現在会員数

会員23名、監事2名

4 出席会員数

会員22名、監事2名

小池 友妃子（会長）	神谷 昌明（副会長）	山中 力四郎	市古 昭子
黒田 実	長谷部 実	藤浦 利吉	近藤 正孝
金子 さか江	三島 孝二	石川 清勝	永井 是充
新美 康弘	金原 節子	加藤 浩孝	下島 良一
杉浦 孝明	磯貝 孝弘	鈴木 良樹	山中 隆
野村 勝己	杉浦 英樹		
永坂 邦男（監事）	原田 孝司（監事）		

5 出席事務局

事務局長（碧南市農業水産課長）	伊藤 博之
事務局（碧南市農業水産課課長補佐）	磯貝 和広
事務局（碧南市農業水産課農政振興係主事）	磯貝 秀徳
事務局（碧南市農業水産課農政振興係主事）	白井 寛人

6 オブザーバー

東海農政局愛知県拠点より2名

7 傍聴人

0名

8 議事とその結果

【事務局】

～本協議会の成立を報告～

【会長】

あいさつ

**【事務局】**

規約第13条第2項の規定によりまして、議長は会長とするため、ここからの進行につきましては小池会長にお願いいたします。

**【会長】**

それでは規約に基づきまして議長を務めさせていただきます。まず始めに議事録署名人を選任します。私から指名させていただいてよろしいでしょうか。

**【会員】**

異議なし。

**【議長】**

それでは今回の議事録署名人は杉浦孝明様と磯貝孝弘様にお願いいたします。

**【議長】**

それでは議事に入ります。第1号議案「令和7年度事業報告及び収支決算について」事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局】**

～第1号議案説明～

ここで監査報告をお願いします。

**【監事】**

資料の9ページご覧ください。去る3月25日ですね。監事であります原田孝司さんと一緒に会計監査を行いました。通帳、帳簿等関係書類を監査しました結果、係数的な誤りはなく、適正に事務処理がなされていることを確認いたしましたので、ご報告させていただきます。幹事報告は以上です。

**【議長】**

ありがとうございました。ただいま事務局と監事からの説明が終わりました。これより質疑に入りたいと思いますが何かご質問等ございますでしょうか。

質疑はないようですので、第1号議案につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。挙手全員ということでございますので、第1号議案を承認いたします。続きまして、第2号議案「令和8年度事業計画及び収支予算について」事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局】**

～第2号議案説明～

【議長】

ただいま2号議案につきまして説明が終わりました。これより質疑に入ります。何かご質問等ございますか。

質疑はないようですので、第2号議案につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。挙手全員ということでございますので、第2号議案を承認いたします。

これで議案につきましては、全て審議を終えました。その他 ということで何かございますか。

【事務局】

～その他 説明～

【議長】

ただいま事務局からの説明が終わりました。何かご質問等ございますでしょうか。

特段ないということでございますので 次にオブザーバーとして東海農政局の方にお越しいただいておりますので、昨今の状況等についてお話いただきたいと思っております。

【オブザーバー】

～最近の農政の動きについて～

- ①食糧法の一部改正、②米の需給量の見通し、③主食用以外の米への転換、
- ④石油製品相談窓口、⑤熱中症対策

【議長】

ありがとうございました。何かご質問等ございますか。

【会員】

配布資料の2ページ目、法律案の概要の「2番」と「3番」のところについて伺いたい。

先ほどのご説明の中では、この2番と3番については詳しく触れられませんでした。そこには「需要減少を前提とした生産調整の方針に関する規定を廃止する」という非常に気になる文言があります。

我々碧南の農家は、現在まさに3年1作のブロックローテーションを組んで、地域ぐるみで必死に生産調整に取り組んでいる真っ最中。この「規定の廃止」という方針は、今まさに我々が現場で汗をかいて進めている活動に対して、何か直接的な影響を及ぼすものなのではないでしょうか。それとも、これまでのやり方が根本から変わってし

まうということですか。

**【オブザーバー】**

ご心配をおかけしました。この「廃止」というのは、地域で取り組まれているブロックローテーションを否定するものではありません。これまでは「コメの需要が減るから、一律に減らす」という後ろ向きな生産調整のイメージが強かったのですが、今後は加工用米や輸出用米など、需要があるものについては国内産に切り替え、積極的に作っていきこうという「需要に応じた生産」へ方針を転換するという意味です。現場の取り組みは引き続き重要です。

これは「コメ＝減らすもの」という従来の固定観念を排し、輸出用や加工用など「需要があるものはどんどん作っていきこう」という攻めの姿勢への転換を意味します。地域で進めていただいているローテーションを否定するものではありません。

**【会員】**

コメの話ではないのですが、石油製品の供給問題について切実な願いがあります。現場では現在、出荷に使う袋や、段ボールを止めるカートンテープなどの資材が極端に不足しています。農家が必死に探し回っている状態です。出荷できなくなると死活問題ですので、石油製品がしっかり農家の手元に届くよう、国としてメーカー等へ強力に働きかけてもらえませんか。

**【オブザーバー】**

貴重な現場の声をありがとうございます。資材不足については、全国のJAや自治体からも同様の懸念が上がっています。相談窓口で集約した情報は、本省を通じて経済産業省に伝え、円滑な供給がなされるよう強く要請しています。すぐに100%改善とはいかないかもしれませんが、優先順位を考慮した対応を求めてまいります。

**【会員】**

資料の需給見通し表にある「玄米」と「精米」の数字について確認させてください。これまでは玄米ベースの数字のみでしたが、今回あえて精米の数字を並べた意図は何ですか。また、この精米の数字は玄米から単純に10%引いたような計算ではなく、もっと精緻なものなののでしょうか。我々生産者が種もみの準備をする段階で、こうした正確な数字が早く出ると非常に助かるのですが。

**【オブザーバー】**

ご指摘の通り、これまでは玄米のみで管理していましたが、近年の猛暑による高温

障害で精米時の歩留まりが悪くなり、玄米の数字だけでは実際の供給量が測れなくなったという反省があります。そのため、過去5年の平均歩留まりやインバウンドの消費実態を加味し、実務に即した「精米ベース」の数字を算出するようにしました。今後できるだけ早いタイミングで、クイックレスポンス心がけて情報提供してまいります。

**【議長】**

ありがとうございました。そのほかございますでしょうか。特段他にないということですので、それでは、これをもちまして碧南市地域農業再生協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

～午後3時00分 終了～